

OBC サポート技術情報

OBC 定型文書

翌年1月の賞与処理で、過不足税額を精算する場合の操作方法について

この資料は、以下の製品が対象です。

給与奉行Jシリーズ

- ① 前年の年末調整処理を、「単独年調」で処理済みにします。
- ② [導入処理]-[給与体系登録]-[勤怠支給控除項目登録]メニューの[控除]ページで、年調精算用の控除項目を登録します。

項目種類	項目名
控除10	年調過不足額

控除	項目名	社保扱い対象	0	対象外
控除 1	健康保険料	週及控除額対象	0	対象外
控除 1-1	介護保険料	端数処理	0	切り上げ
控除 2	厚生年金保険	前回複写	0	複写しない
控除 3	厚生年金基金	0円印字設定	2	項目名も印字しない
控除 4	雇用保険料	計算回数印字	0	印字しない
控除 5	所得税			
控除 6	社内預金			
控除 7	旅行積立金			
控除 8	家族親睦費			
控除 9	その他控除			
控除10	年調過不足額			
控除11				
控除12				

※「控除1」～「控除5」は社会保険・所得税を控除する項目のため、「控除6」～「控除20」で使用してください。

※社会保険料・所得税などの影響を受けない「金銭の授受」が行えるため、還付（金銭を社員に支払う）の場合でも必ず控除項目をご用意ください。

※前回複写は「0: 複写しない」を選択します。

また、第2回以降の賞与明細書に項目名を印字しない場合は、0円印字設定で「2: 項目名も印字しない」を選択します。

- ③ [年末調整]-[年末調整一覧表]-[過不足税額一覧表]メニューを開きます。
[過不足税額一覧表 - 条件設定]画面の[集計項目設定]ページで「差引超過額」「差引不足額」だけ選択済項目に設定して、印刷します。

選択項目	項目名
全選択(A)	《差引超過額》
選択(S)	《差引不足額》

過不足税額一覧表

社員番号	氏名	課税区分/年調計算	《差引超過額》	《差引不足額》
【合計	22名】		797,780	120,788
100000	山田 一朗	甲 欄 / 単独年調	9,396	0
100001	川谷 しげる	甲 欄 / 単独年調	0	37,800
100002	小川 いずみ	甲 欄 / 単独年調	11,252	0

- ④ 本年度の処理がすべて終了しましたら、[随時処理]-[バックアップ]メニューで本年度のバックアップデータを作成します。
- ⑤ [随時処理]-[年次更新]メニューで処理年を更新します。
- ⑥ 翌年の賞与処理を行います。
賞与処理画面で、②で作成した控除項目に金額を入力します。

○差引超過額・・・「マイナス」で入力します

○差引不足額・・・「プラス」で入力します

301 営業部 東日本営業課		社員番号順		年 第1可分	
社員番号	氏名	社員番号	氏名	未処理社員数	22
100000	山田 一朗			処理状況	未処理
		支給日	1月20日		
				賞与試算	前月給与
				264,000	215,557
				0.000	
基本賞与	奨励手当	優秀手当	特別手当		
400,000	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
健康保険料	厚生年金保険	厚生年金基金	雇用保険料	所得税	社内預金
3,020	32,924	0	2,000	[2.042%]	
19,980				7,008	
0	0	0	0	0	0
扶養等の数	過不足控除額	総支給金額	控除合計額	差引支給額	銀行1振込額
3	0	400,000	54,418	345,584	200,000
		銀行2振込額	現金支給額		
		145,584	0		

以 上